

経営学科【高一種免（商業）】の教員養成の理念と構想

経営学科では、「大阪産業大学における教員養成の理念等」に基づき、基本的な教育理念として「現代社会の多様なニーズに対応する事業活動に不可欠な専門的知識を教授し、個性豊かで活力ある人材を社会に送り出すこと」と定め、さらに研究教育上の目的を「多様化する現代社会のニーズに対応すべく、企業経営・会計・経営戦略・マーケティング・情報システム・キャリア・マネジメントなどビジネスに不可欠な幅広い知識を修得させることを目指す。個性豊かでビジネス社会で真に活躍できる活力ある人材の輩出と職能別・産業別に具体性の高い教科内容を拡大し、社会に有用な能力を修得させることを教育目標とする。」と定めている。この教育理念および目的から、経営学科では経営に関する単なる理論や理屈のみならず、多様化する現代社会の動向に対応した最新の知識および実務、ヒット商品を生み出すための市場戦略、会社組織を支えるための人材育成や財務管理等を中心に、高度なマネジメント力と問題解決力を学び、将来、教育者として社会で活躍する人材を輩出することを目標としている。

特に経営学科の教員養成では、幅広い知識・技能養成の見地から、経営、会計、経営戦略、マーケティング、情報・キャリア・マネジメントといった組織経営・運営には欠かせない内容のすべてを習得し、すべての分野について偏ることなく教育できる商業科教師の育成に力を入れる。したがって、経営学科の専門科目を幅広く学ぶとともに、少人数授業ではコミュニケーション能力を培い、生徒が高校卒業と同時に就職し、社会で活躍する即戦力を生み出す力となる人材の育成を行えることが必要である。

商学科【中一種免（社会）、高一種免（公民）、高一種免（商業）】

の教員養成の理念と構想

商学科では、現代社会の多様なニーズに対応する事業活動に不可欠な専門知識を教授し、業種の枠を超えてグローバルビジネスに戦略的に対応できる人材を社会に送り出すことを目指します。そのために、幅広い教養と商学、経営、情報、会計に関する専門知識を身につけ、変動やまない国際社会・情報社会のなかで、理論的背景をもち多様な社会的ニーズに応えうる人材の育成を教育の目標とします。

商学科における教員養成（商業）においては、商いが盛んな大阪にあって、地域の要請に応えることを通じて、現代の日本において重要な、地域を新たに活気づけることに貢献すべく、次世代を担う子供たちを教育できる人材を育成することが不可欠です。それにあたっては、企業経営に関わる流通・金融・情報における各種専門的知識を背景とした実践的・的確な教育を施すことができる人材の育成は、社会からの重要な要請といえます。商学科ではこれらの各専門的な知識がバランスよく修得できるようなカリキュラムやそれを支援する教員構成をしており、高い質の教員を輩出することができると自負します。

商学科における教員養成（社会・公民）においては、現代の産業がおりなす経済の仕組みを理解し、幅広い教養を背景に、政治・歴史・地域政策がいかに経済と関係をしているかという、公民に必要な視座を獲得し、それを適切に子供たちに伝えることができる人材を育成します。また、地域が主体となって再び発展が可能となるような社会・経済システムを志向しながら、地域の経営・住民参加のまちづくり等により、社会的課題を解決するための政策・事業を継続・発展させる真の商学力を有した教育の担い手を育成することを目的としています。